

きゅうほうちゅうがっこう(まつやまきたこうこう)

## 旧北予中学校(松山北高校)



### 秋山好古が校長を務めた学校

秋山好古は、晩年北予中学校(現在の松山北高校)の第4代校長を務めた。松山北高校80周年記念館の前には秋山好古の胸像、1階の校史資料室には、好古ゆかりのコーナーがあり、資料が多数展示されている。正門を入った所には北予中学校を支え、好古を校長に招いた井上要の像などがある。



### DATA

①松山市文京町4-1  
※校史資料室は一般開放をしていない。学校・地域等の団体の見学には事前に文書で申請が必要。



ろしあへいぼち

## ロシア兵墓地

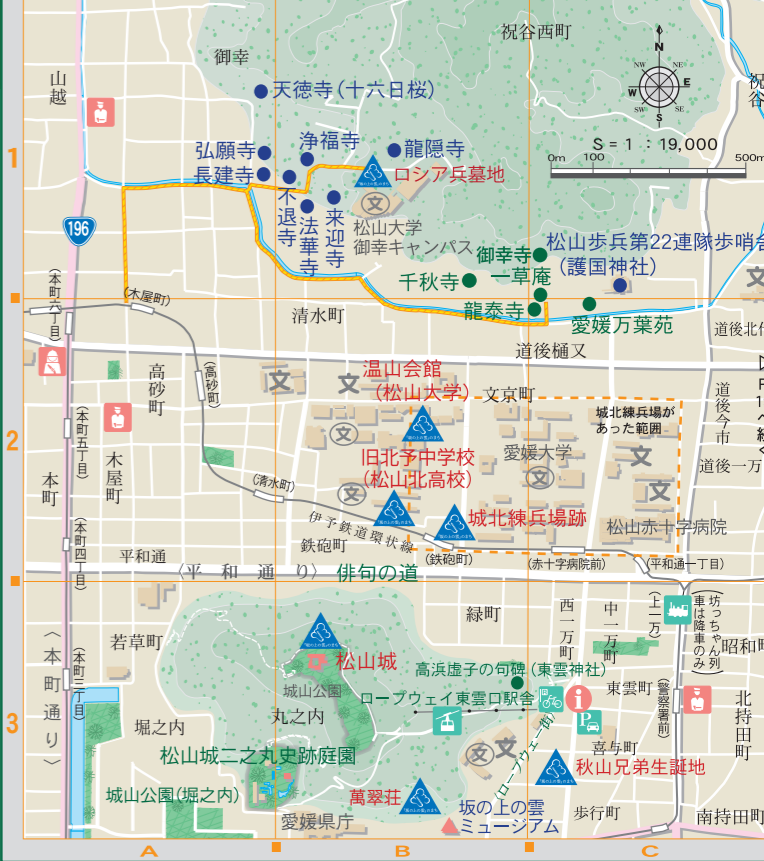


### 地域住民や中学生が清掃

日露戦争時、日本で初めて松山にロシア兵捕虜収容所がつけられた。多いときは4,000人を超える捕虜を収容したが、彼らは比較的自由な生活が許され、市民との交流も多かった。異国の地で生涯を終えたロシア兵捕虜たちを埋葬した墓地は、昭和35年(1960)に今の場所に移された。現在は地域住民や中学生による清掃活動が行われている。

DATA ①松山市御幸1-531-2 ②089-911-1863(松山市生活衛生課)  
③電停木屋町から徒歩15分

# 城北地区



おんざんかいかん

## 温山会館(松山大学)



### 加藤拓川について知る

温山会館2階の歴史資料室には、松山大学三恩人のひとりで子規の叔父・加藤拓川ゆかりの資料などを展示。拓川は上京した子規を陸羯南(くがかつなん)に引き合わせた人物。温山とは松山大学の前身・松山高等商業学校の創立者の一人で実業家・新田長次郎の雅号である。

DATA ①松山市文京町4-2 ②089-926-7141 ③電停鉄砲町から徒歩5分  
④土・日曜・祝日を除く月～金曜の9～16時 ⑤なし  
※見学希望の方は、事前に大学(温山会事務室)に電話を。ただし大学の一斉休暇・入試期間中は利用できません。



## 俳句の道

### 松山らしいストリートが延伸

はくのみち  
県民文化会館東の「俳句の道」が延伸し、平和通り沿いにも多くの句碑が設置された。県民文化会館東通りには、道後の湯を詠んだ俳句の句碑があり、平和通りは、松山城・城北練兵場跡・古町など、このエリアにゆかりの俳句を刻んだ句碑が点在する。安全対策として歩道をカラー舗装し、歩行者と自転車の通行帯を分離。また、電線などを地中化して、周辺の景観に配慮している。イチョウの葉をイメージした街路灯も設けられて、趣きある通りに変わった。



いっそうあん

## 一草庵



### 山頭火最晩年のすみか

漂泊の俳人・種田山頭火が、最期の1年間を過ごした庵を再建したもの。外観の見学は自由。年末年始を除く土日・祝日には庵内部が見学できる。「一草庵」の扁額は、山頭火の師・荻原井泉水(おぎわらせいせんすい)の揮毫。山頭火の句碑4基がある。

DATA ①松山市御幸1-435-1 ②089-948-6891(松山市教育委員会文化財課)  
③電停赤十字病院前から徒歩7分



## 城北練兵場跡



### 松山の野球発祥の地

子規は松山に野球を初めて紹介した。小説では、城北練兵場で虚子が子規の野球をする姿を目撃しているシーンが描かれている。練兵場は、現在の愛媛大学城北キャンパス、松山赤十字病院、松山東中学校あたりで、日露戦争時には城北バラックといわれるロシア兵捕虜収容所が設置された。

DATA ①松山市鉄砲町 ②電停鉄砲町からすぐ



ちよっけんじ  
長建寺は加藤嘉明が築城の際、軍時的見地から城の北部に寺町をつくるため、旧城下の松前からここに移した。小さいがすばらしい庭をもつ。種田山頭火・松尾芭蕉の句碑がある。  
①松山市御幸1-281 ②089-925-1751  
③電停木屋町から徒歩10分



### 龍泰寺

りゅうたいじ  
拳骨(げんこつ)和尚で知られる物外(もつがい)が6歳の時に得度した寺。十五世文明は、松山寛政八傑の一人で名僧だった。入り口の太鼓橋は、花崗岩一枚岩を橋幅にして楕(だま)び形に組んだ珍しい橋。  
①松山市御幸1-426 ②089-925-2574  
③電停赤十字病院前から徒歩17分



### 愛媛万葉苑

えひままんようえん  
護国神社の境内にある愛媛万葉苑は、一万種集で詠まれている150種のうち約100種類ほどの植物を植えた植物園。それぞれに万葉の和歌と植物の名前が添えてあり、じっくり鑑賞すると古人が植物に寄せた関心の深さに触れられる。額田王の「よきたつの歌碑」もある。  
①松山市御幸1-476 ②089-925-2335  
③(護国神社)  
④電停赤十字病院前から徒歩15分  
⑤100台(参拝駐車場)



街角のお宝  
ここも見逃さない